

長沼町長

齋藤 良彦



新年を迎えて

あけましておめでどうございませう。令和5年の輝かしい新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。皆様には日頃より、町政の推進に對し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ウクライナ情勢による原油や天然ガスなどのエネルギー資源の高騰、アメリカと日本との金利格差による急激な円安などさまざまな要因での物価高騰により、国内外の経済情勢が悪化し、今後においても厳しい状況が想定されています。

新型コロナウイルス感染症につきましては、未だ終息の兆しが見えない状況が続いており、多くの皆様の生活や仕事に大きな影響を及ぼしています。町内でも、これまで多くの行事、イベント、会合等が中止や縮小されるなど、厳しい状況が続いております。そのような状況の中

ではございますが、経済活動の再開に向けて、道の駅マオイの丘公園で「マオイ夜市」が開催されるなど、少しずつ人を集めるイベントも開催され始めたところですが。

町ではこれまでに、新型コロナウイルス感染症対策や中小企業等応援給付金をはじめ、様々な施策に取り組んでまいりました。また、昨年から農業資材等高騰対策支援事業や子育て世帯生活応援給付金給付事業などの物価高騰対策にも取り組み始めたところです。予断を許さない社会情勢でございますが、その時の状況に応じた対策を講じていきたいと考えているところです。このような情勢の中でこそ、地域に元気が出るまちづくりを着実に進めることが重要であり、現在、道央圏連絡道路、北広島ボールパークと連携した企業誘致や遊休町有地等の利活用など、持続可能な地域づくりに向けた各種施策を進めていくところです。

旧南長沼小学校・中学校の利活用につきましては、町主導による企業誘致活動により学校跡地に「(株)キヤメル珈琲」の工場誘致を行い、その工場が昨年8月に竣工いたしました。同社はながぬま温泉や道の駅の指定管理者にも選定されており、昨年は町との共同事業で道の駅のリニューアルを実施したところであります。また、農産物直売所の建て替えにも着手しており、今春からのオープンを目指しております。

長沼町議会議長 平井 儀一



年頭所感

あけましておめでどうございませう。町民の皆様には輝かしい令和5年の新春をお迎えのことと、長沼町議会議長を代表しまして心よりお慶びを申し上げます。また、常日頃から議会活動に對し、深いご理解と温かいご支援を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、北京冬季オリンピックでの史上最多となる18個のメダルを獲得した日本選手団の活躍に感動し、コロナ禍の中においても、スポーツを通して勇氣と希望を与えてくれました。2月には道内各地で記録的な大雪に見舞われ、大規模な交通障害が発生し、人流・物流に影響を及ぼしました。その後は幸いにして大きな自然災害はなかったものの、依然として新型コロナウイルス感染症は終息の兆しが見えず、さらには、ウクライナ情勢など

さらに、道の駅に隣接したホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道長沼マオイの丘公園」が5月にオープンいたしました。このホテルは宿泊特化型のホテルで、食事やお土産などは道の駅をはじめ地域のお店を利用していただくことで、地域の人々との交流や道の駅との往來を促す設計となっております。

これまで「旅の通過点」であった「道の駅」を、地域の魅力を渡り歩く「旅の拠点」としても利用いただき、通過型観光から滞在型観光へシフトチェンジしていく取り組みにも民間企業等とも連携しながら積極的に進めていきたいと考えております。農業関係では、昨年の水稲の作況指数は「1.05」の「やや良」となり、空知地区「ゆめぴりか」コンテストにおいては、JAながぬまが4年ぶり2度目のグランプリに輝くなど、長沼産米の品質の高さを証明しました。また、プロッコリーの販売額が9億円を超えるなど、他の作物も含め、豊穡の秋を迎えることができました。

本年も、産業振興や企業誘致、移住定住などの本町独自の『ながぬま創生』に取り組み、人口減少を抑える「人口の安定化」対策を積極的に行い、いつまでも安心して住み続けられる豊かなまちづくりを目指してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うとともに、皆様にとりまして、本年が幸多き素晴らしい年でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

による原油価格や物価高騰により、町民の生活や経済活動に大きな影響を与えております。

このような中、本町の基幹産業である農業は、平年より融雪が遅かったものの、その後は好天に恵まれ順調に生育が推移し、水稲の作況指数は南空知で1.05を数え、大豆や小麦などの農作物もおおむね良好な出来となり、さらに米の品質は、空知地区ゆめぴりかコンテストにて高く評価され、グランプリを受賞されました。これもひとえに生産者をはじめ関係者皆様のごこれまでのご努力の賜であります。

一方で、人口減少や食生活の多様化が進み、米の消費量は年々減少する中、長引くコロナ禍による農畜産物の在庫の滞留が続いており、価格の低迷や生産資材高騰、さらには「水田活用の直接支払交付金」の交付要件の厳格化など、本町の農業を取り巻く情勢は大変厳しいものがあります。議会としてもこの状況を重く受け止め、今後の動向について十分注視していく所存であります。

我々議員の任期も残すところ3か月となりました。任期中の大半がコロナ禍の中であったため、前例のない議会運営に苦慮しましたが、町民福祉の向上に資するという議員本来の役割を果たせるよう、全力で取り組んできた4年間であります。地方分権に伴い自治体が担う役割が増大する中、議会の果たすべき役割と責任もますます大きくなっており、機能を発揮するためには議会

の改革を進めることも必要であります。そのため、議会では町民の民意を反映できる最小限の定数を考え、昨年3月に議員定数を次期任期から、現行14名を2名削減し、12名としました。また、町民アンケートなどの意見を踏まえ、広報広聴活動の強化のため、新たに「広報広聴常任委員会」の設置やYouTubeによる議会中継の配信など、これまで以上に議会を身近に感じてもらうために、できることから開かれた議会を目指すべく改革を進めてまいります。

今後とも議員一人一人がその責務を自覚し、議員としてより一層の資質の向上に努めるとともに、議会改革・活性化に取り組みながら、町民の皆様への信託に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいり所存でありますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年は卯年、「飛躍」や「向上」といった何かを開始するのに縁起が良く、希望にあふれ、好転する良い年と言われているとされます。長引くコロナ禍が1日も早く終息し、本町にとって飛躍的に成長する年になることを切に願っているところであります。令和5年の新春に臨み、町民の皆様におかれましては、コロナ禍を乗り越え、健やかで実り多く、希望に満ちた年になりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



町長 齋藤 良彦
副町長 塩 浜 友 章

総務財政課長 宇野 智幸
同 参 事 藤 沼 弘之
政策推進課長 青 野 直樹
同 企画官 岡 田 裕太
税務住民課長 居 上 透
保健福祉課長 駒 谷 敏
子ども育成課長 小 林 尚
産業振興課長 柏 林 尚
同 理 事 武 田 光雅
都市整備課長 別 所 昭春
同 理 事 天 野 昭基
会計管理者 高 田 秀一
ほ か 職員 一 同

教育委員会
教育長 間 嶋 一 勉
同職務代理者 水 野 正
委 員 井 形 和 代
" " 田 村 昭 夫
" " 天 野 隆 徳
" " 中 原 豊 和
" " 学校教育課長 森 下 一
" " 社会教育課長 森 下 一

町議会議長 平 井 儀 一
副議長 清 水 慧 子
議 員 森 下 慎 一
" " 四 釜 和 朗
" " 萩 和 博
" " 保 井 信 典
" " 駒 谷 正 浩
" " 田 中 千 春
" " 中 村 秀 彦
" " 仲 山 義 貞
" " 曾 我 部 貞 彦
" " 坂 下 一 彦
" " 山 本 克 己
" " 山 田 享 文
" " 池 田 芳 文

町立長沼病院
院長 谷 元 博
総看護師長 横 山 さとみ
事務局長 奥 原 一 努
ほ か 職員 同

老人保健施設「いこい」
施設長 田 中 利 明
事務局長 渡 部 一 治
ほ か 職員 同

